

「森林・林業日本一の町」における“クップ”を活用した交流の促進！

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

- クップを通じ、町の内外を問わず、世代間、異業種間、自治体間等の「交流」を図り、笑顔と笑声にあふれる町を目指す。
- △ クップの「聖地」としての情報発信により、町の認知度と郷土愛を高める。
- 森林・林業日本一の町を「象徴」するゲームとしてのクップの理解とP Rに努め、林業及び環境問題への意識啓発に結び付ける。



<PRポイント>

- ・2008年から「毎年」開催している「クップ・ジャパン・オープン in 住田町」の規模を拡大し、交流人口の増加を目指す。
- ・将来はクップ「ワールドカップ」を開催し、国際交流を図る。
- ・「クップの町」としての「シビック・プライド」を惹起する。

住田町PRのキャラクター
木炭の妖精「すみっこ」だよ。



<概要> 計画期間：～令和9年3月31日

<現状・課題>

- 人口減少、少子高齢化、新型コロナウイルス感染症の影響により、交流機会が減少している。
交流人口 目標：150,000人 現状：(R4) 58,852人 町総合計画より
- △ 林業や町づくりに関連する認知度が低く、町民の町に対する誇りと愛着が足りない。
クップの町民認知度 目標：100%
- 町の「基幹産業」としての林業への理解が浸透せず、自然環境等の環境問題に対する関心も薄い。
町の自然環境を良いと感じる町民の割合 目標：80% 現状 (R4) :78.1% 町総合計画より

<総合的な取組内容>



- 「普及」：子ども会、高齢者教室、企業、マスコミへの働きかけ 認知率100%！
- 「交流」：既に交流のある全国の自治体、林野庁、一般社団法人日本クップ協会、都道府県クップ協会に加え、新たな企業や団体へのP Rによる 関係人口の増加！外国人実習生との交流により、地元企業の受け入れ促進！

「森林・林業・木材産業」：クップをきっかけとした、森林環境問題や町の林業及び木材産業への理解力の増幅、新技術を活用した林業振興への理解！

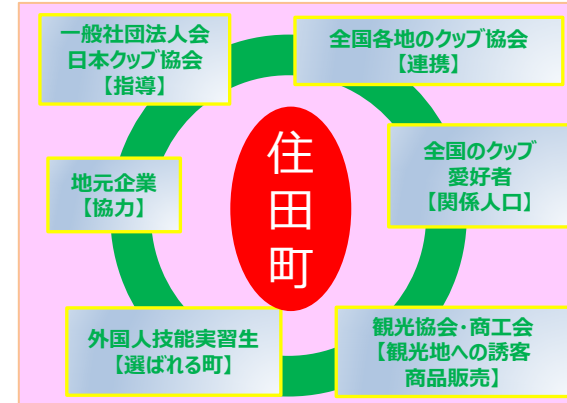


「波及効果」：観光協会等との連携により、特産品、土産品の販売促進及び観光地（種山ヶ原・滝観洞）への誘客！町東部の五葉山の檜（ヒノキ）から加工される火縄を使用した「火縄銃鉄砲隊」を紹介！



オール木造の住田町役場

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



クップコート

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：住田町教育委員会
- 地方スポーツ推進計画：第10次住田町教育振興基本計画
- 地方版総合戦略：住田町総合計画
- 地域スポーツミッション：なし

【問合せ先・電話番号】

住田町教育委員会 生涯学習係
TEL 0192-46-3863

【フォローアップ欄】 令和6年度以降における計画の進捗状況